

平成27年度 栗原市のお金の使い道 (栗原市決算概要)



つく
「市民が創る くらしたい栗原」

あす
～さあ明日へ。もっと前進！！～



はじめに

市民のみなさま、こんにちは。市長の佐藤 勇です。

栗原市は昨年、合併10周年を迎え、各種メモリアルイベントを開催し、市民のみなさまをはじめ、全国から多くのみなさまにお越しいただき、大変な盛り上がりとなりました。



平成27年度におきましては、「子は何物にも優る宝」との思いから、人口増加の要となる子どもと子育て世代を応援するため、幼稚園でも保育所でも兄弟姉妹がいる場合は、2人目以降を無料とする支援策を実施してまいりました。

栗駒、志波姫地区では幼保一体施設の整備、一迫地区では、一迫幼稚園の増築を実施し、平成28年4月から、市内全域での3年保育を実現しております。

また、保育所の待機児童の解消に向けて、築館保育所の整備を行い、平成28年6月から開所いたしております。

さらには、金成津久毛小学校跡地に整備した北部学校給食センターの稼働により、平成28年8月より市内全域での学校給食も実現しております。

若者定住促進施策としては、宅地分譲「^す住まいる栗原シェアリングタウン事業」や定住促進住宅整備事業、婚活イベントなどを実施いたしました。

今後も、「栗原市のお金の出所と使い道（予算概要）」や「栗原市のお金の使い道（決算概要）」を通して、市の台所事情をご説明していきますので、お気づきの点があればご意見などをお寄せいただきながら、「市民が創るくらしたい栗原」をともに築き上げてまいりたいと思います。

平成28年11月

栗原市長

佐藤 勇

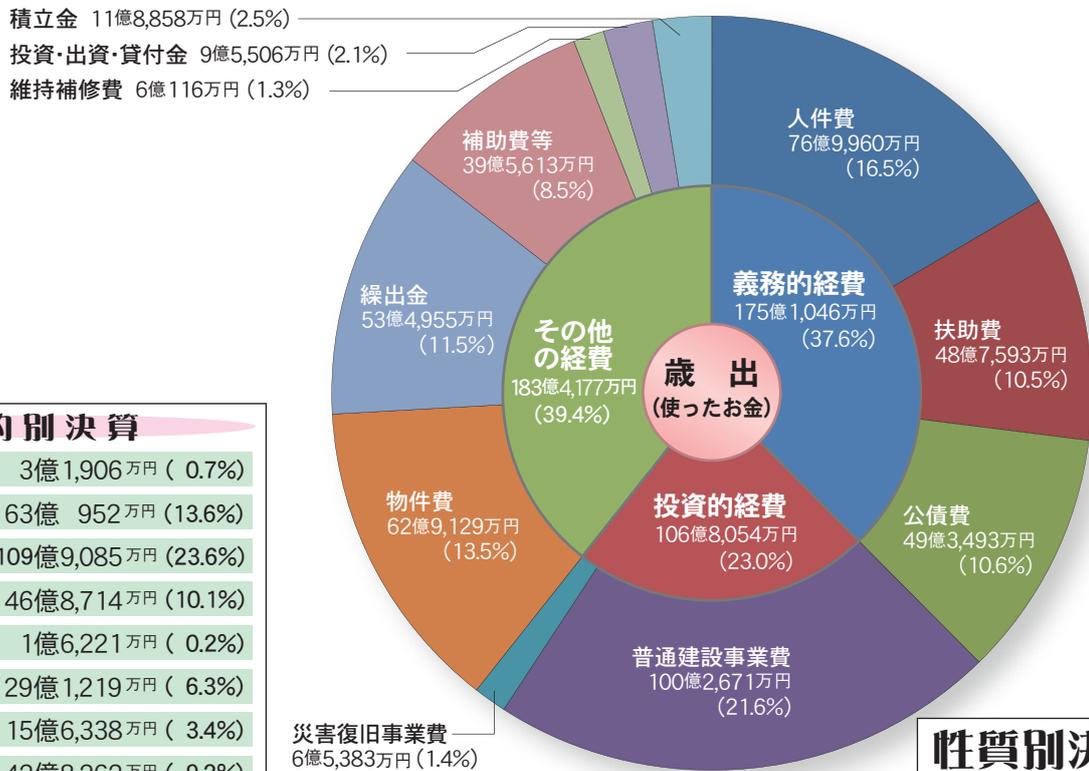
～ 目 次 ～

はじめに

平成27年度栗原市の会計決算報告	1
主な合併10周年記念事業、成長戦略事業、事業別決算一覧	4
主な合併10周年記念事業	7
新たな7つの成長戦略	9
1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」	
(1) 豊かな自然環境と共生した生活を実現します	13
(2) 多様な暮らしを満喫できる生活環境を形成します	13
(3) 安全・安心なまちづくりを推進します	15
2 「豊かな感性と生きる力を育むまち」	
(1) 次代を担うたくましい子どもを育成します	17
(2) 人生を楽しむための実践機会を充実します	18
(3) 地域に根ざした文化の振興と歴史の継承を図ります	18
3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」	
(1) 子どもを安心して出産でき 健やかに育てられる支援を行います	19
(2) 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくります	21
(3) 高齢者が生きがいを持ち 互いに支え合うまちを目指します	22
4 「地域の特性を活かした 産業や交流が盛んなまち」	
(1) 栗原ブランドの形成と高付加価値の地場産品づくりに取り組みます	23
(2) 産業育成と企業誘致による産業拠点を形成します	24
(3) 地域資源を活かした交流人口の増加を図り栗原市を発信します	25
5 「市民がまちづくりを楽しめるまち」	
(1) 小さなコミュニティを大切にされた地域づくりを推進します	27
(2) 市民が自ら行うまちづくり活動を支援します	27
(3) 市民満足度を重視した効率的な行政サービスを行います	28
6 「震災からの復興を成し遂げ 発展していくまち」	
(1) 社会生活基盤の早期復旧を図り、市民生活の再建を支援します	28
(2) 産業基盤の復旧を進め、震災をバネにした新たな産業の 創出などによる地域経済の活性化を図ります	29
(3) 市民協働による災害に強いまちづくりを推進します	29
(4) 福島第一原子力発電所からの放射性物質拡散への備えを進め、 安全・安心な暮らしを守ります	30
7 特別会計・事業会計決算の主な事業	31
8 平成26年度からの主な繰越事業（地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金事業関係）	33

平成27年度 栗原市の

平成28年第3回栗原市議会定例会において「平成27年度決算」が認定されました。市民の皆さんから納めていただいた税金や国・県からの補助金などの限られた財源を、なお、主要事業の決算状況については、7ページ以降に掲載しておりますので、ご覧ください。



議会費	3億1,906万円 (0.7%)
総務費	63億952万円 (13.6%)
民生費	109億9,085万円 (23.6%)
衛生費	46億8,714万円 (10.1%)
労働費	1億6,221万円 (0.2%)
農林水産業費	29億1,219万円 (6.3%)
商工費	15億6,338万円 (3.4%)
土木費	42億8,262万円 (9.2%)
消防費	21億3,482万円 (4.6%)
教育費	76億6,192万円 (16.5%)
災害復旧費	5億7,411万円 (1.2%)
公債費	49億3,495万円 (10.6%)

一般会計決算 歳出総額 **465億3,277万円**

各会計決算額

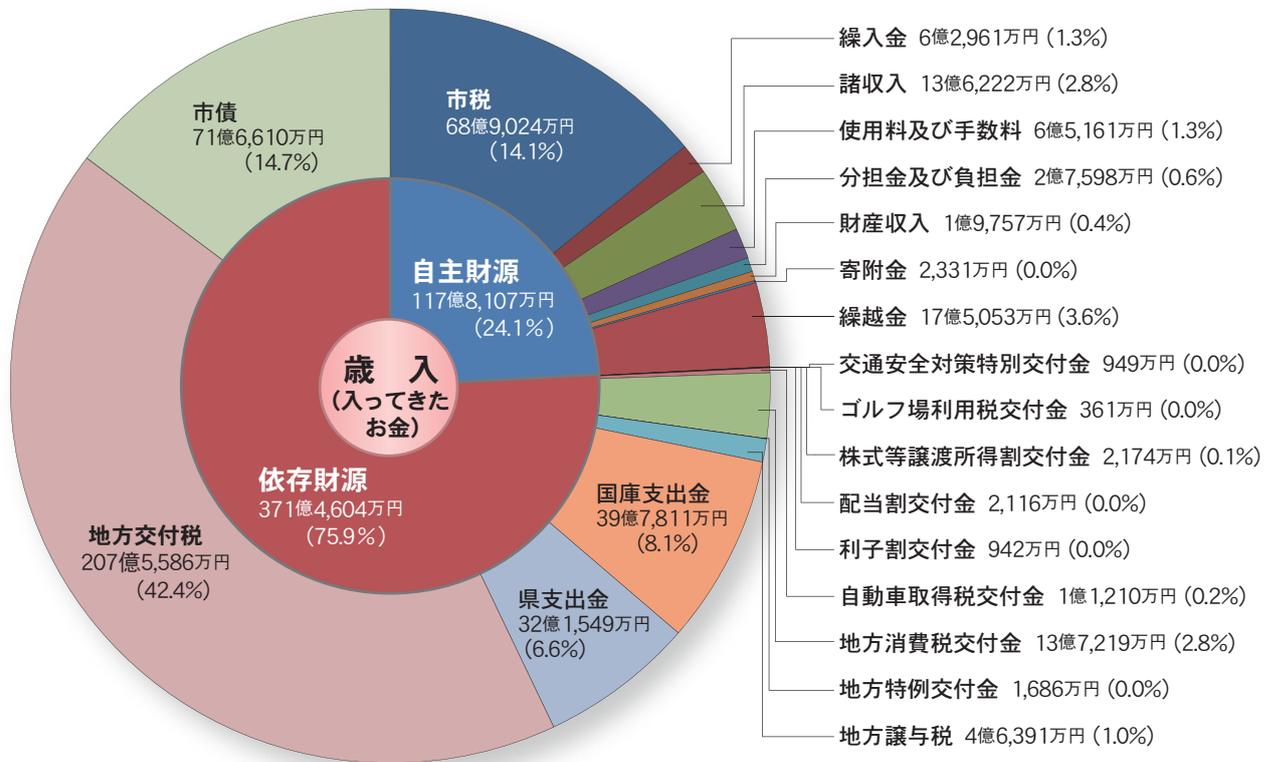
会計名	
一般会計	
特別会計	
	国民健康保険特別会計(事業勘定)
	介護保険特別会計
	後期高齢者医療特別会計
	下水道事業特別会計
	農業集落排水事業特別会計
	合併処理浄化槽事業特別会計
	簡易水道事業特別会計
	診療所特別会計
	工業団地整備事業特別会計
事業会計	
	水道事業会計
	病院事業会計
合計	

※水道事業会計及び病院事業会計については合計額を記載しています。

- 義務的経費** ～支出が義務づけられている経費です～
 - 人件費** 議員や職員などに支払われる給与などの経費
 - 扶助費** 社会保障制度の一環として、児童、高齢者、障がい者、生活困窮者を援助するための経費
 - 公債費** 市債(市が借り入れた借入金)の返済に要する経費
- 投資的経費** ～道路や学校など社会基盤の整備に充てる経費です～
 - 普通建設事業費** 生活基盤整備のための経費で、主に道路や橋、学校などの公共用、公用施設の新増改築などに要する経費
 - 災害復旧事業費** 風水害や地震などの自然災害で被害を受けた公共施設などの復旧に要する経費
- その他の経費** ～義務的経費、投資的経費以外の経費です～
 - 物件費** 委託料、賃金、旅費などの事務的経費
 - 繰出金** 他の特別会計への繰り出しなどの経費
 - 補助費等** さまざまな団体への補助金、負担金、報償費、寄附金など
 - 維持補修費** 道路や公共施設などの効用を維持するための経費
 - その他** 投資及び出資金(病院・水道事業会計への出資金など) 貸付金(公益上の目的を持って個人や団体に貸し付ける経費) 積立金(特定の目的のために設けられた基金などに積み立てする経費)

会計決算報告

皆さんの生活向上にどのように使ったのか、一般会計を中心に決算の概要を報告します。
 ださい。



一般会計決算 歳入総額
489億2,711万円

■ 自主財源 ～栗原市が自分の力で得られるお金です～

- 市 税** 市民税や固定資産税など、市民の方に納めていただくお金
- 繰 入 金** 特別会計や各基金などから繰り入れるお金
- 諸 収 入** 他の収入科目に当てはまらない収入(預金利子や貸付金元利収入など)
- 使用料及び手数料** 公共施設を使用した時に支払う使用料や住民票を取得するときの手数料など
- 分担金及び負担金** 市の事業により特定の利益を受ける方が、その受益の範囲で負担するお金(保育料など)
- 財 産 収 入** 市が所有する財産を貸し付けたり、売り払いしたことにより生じる収入
- 寄 附 金** 個人や法人・団体などから受ける金銭による寄附
- 繰 越 金** 繰越事業の財源など、当該年度へ繰り越しされたお金

■ 依存財源 ～国や県の基準に基づいて得られるお金です～

- 地方交付税** 国が国税を一定の基準で地方に交付し地方公共団体間の財源不均衡を調整するための交付金(普通交付税と特別交付税があります)
- 市 債** 公共施設の建設などの財源として市が借り入れる長期の借入金
- 国庫支出金** 国が特定の事務・事業に対して交付する負担金や補助金など
- 県 支 出 金** 県が特定の事務・事業に対して交付する負担金や補助金など
- 地方譲与税** 国が国税を一定の基準によって地方に譲与する税(自動車重量譲与税、地方揮発油譲与税など)
- そ の 他** 地方特例交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、ゴルフ場利用税交付金、交通安全対策特別交付金(国の税金や県の税金を、各交付金として一定の基準により地方に交付されるお金)

歳出決算額	歳入決算額
465億3,277万円	489億2,711万円
269億5,807万円	274億6,295万円
101億8,094万円	104億7,064万円
92億6,134万円	93億7,771万円
8億3,402万円	8億4,152万円
32億8,435万円	33億1,749万円
2億4,264万円	2億4,835万円
2億7,844万円	2億8,406万円
14億3,498万円	14億6,835万円
3億8,994万円	4億 242万円
10億5,142万円	10億5,241万円
105億2,649万円	94億1,920万円
21億3,446万円	17億7,136万円
83億9,203万円	76億4,784万円
840億1,733万円	858億 926万円

収益的収入・支出及び資本的収入・支出の

「市民が創る くらしたい栗原」の実現に向け
 もっと前進させるための『新たな7つの成長戦略』

- 戦略1 ▶ 観光客数を、77万人から200万人まで増やします
- 戦略2 ▶ 企業の誘致を進め、自動車関連産業など
4社の誘致、1千人の雇用を実現させます
- 戦略3 ▶ 「子育ては栗原で」をスローガンに、
若者の人口を1千人増やします
- 戦略4 ▶ 幼稚園の3年保育の実現と、
保育所入所の待機児童をゼロにします
- 戦略5 ▶ 「学府くりはら」を目指して、
小・中学生の学力をレベルアップします
- 戦略6 ▶ 高齢者の施設入所待機者300人を半分にします
- 戦略7 ▶ 市立病院の医師を増やし、充実させます

資料の見方

1 一般会計・事業別予算一覧(4~6ページ)

区 分	戦略番号	事業名	決算額	ページ
(2)多様な暮らしを満喫できる 生活環境を形成します	戦略3	住まいる栗原シェアリングタウン事業(再掲)	9,503万円	10
	戦略1	都市計画街路事業	2億5,436万円	13
	戦略1・3・4	道路整備事業	1億7,138万円	14
		道路橋りょう維持事業	3億7,808万円	
	戦略3	公営住宅建設事業	9,430万円	

事業が『新たな7つの成長戦略』の
どれに該当するかを表しています。

平成27年度内に使った事業費(決算額)です。

公営住宅建設事業(戦略3)

安心して暮らせる居住環境・生活環境の整備と
定住を促進するために、地域と密着・連携した公
営住宅の建替えと子育て世代向け定住応援住宅の
整備を行いました。

- 建替 《瀬峰》市営下山住宅
- 造成 《築館》定住応援新田東住宅
- 解体 《瀬峰》市営下山住宅(一部)

9,430万円
 【H28年度への繰越額 8,940万円】
 (担当: 建築住宅課建築係)



建設中の市営下山住宅(瀬峰)

平成27年度予算
のうち、年度内に完
了できなかった事
業費を平成28年
度に繰越して事業
を行う金額です。

主な合併10周年記念事業決算一覧

事業名	開催日	決算額	ページ
ミュージカル公演事業「広い宇宙の中で」	5月30日	443万円	7
元気なくりはらっ子大会	10月11日	365万円	
栗原市民芸術祭	8月2日	166万円	
2015栗原市民まつり	8月29日	850万円	8
栗原ハーフマラソン大会	11月8日	669万円	
海上自衛隊横須賀音楽隊コンサート	11月23日	136万円	
心にきざむ 文化講演会	12月12日	126万円	

主な成長戦略事業決算一覧

戦略番号	区分	事業名	決算額	ページ
1	観光客数を、77万人から200万人まで増やします	栗駒山麓ジオパーク構想推進事業	2,387万円	9
		くりはら田園鉄道旧若柳駅等活用事業	2億8,740万円	
2	企業の誘致を進め、自動車関連産業など4社の誘致、 1千人の雇用を実現させます	三峰工業団地（築館インター工業団地）整備事業（工業団地整備事業特別会計）	6億9,125万円	10
		第2大林農工団地（若柳金成インター工業団地）整備事業（工業団地整備事業特別会計）	3億4,148万円	
3	「子育ては栗原で」をスローガンに、 若者の人口を1千人増やします	住まいる栗原シェアリングタウン事業	9,503万円	
4	幼稚園の3年保育の実現と、 保育所入所の待機児童をゼロにします	築館地区保育所建設事業	2億9,503万円	11
		栗駒地区幼保一体施設整備事業	10億2,363万円	
		瀬峰地区幼保一体施設整備事業	3,632万円	
		志波姫地区幼保一体施設整備事業	8億5,233万円	
		一迫幼稚園整備事業	1億4,791万円	
5	「学府くりはら」を目指して、 小・中学生の学力をレベルアップします	学府くりはら「学力向上推進事業」	1,608万円	
6	高齢者の施設入所待機者300人を半分にします	介護予防事業（介護保険特別会計）	2,696万円	12
		介護予防普及啓発事業（介護保険特別会計）	103万円	
7	市立病院の医師を増やし、充実させます	医学生・看護学生修学資金等貸付事業（病院事業会計）	1,485万円	

事業別決算一覧

1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」

区分	戦略番号	事業名	決算額	ページ
(1)豊かな自然環境と共生した 生活を実現します	戦略3	住宅用太陽光発電設備設置事業補助金	1,139万円	13
		多面的機能支払交付金（旧農地・水保全管理支払交付金）	4億3,029万円	
		中山間地域等直接支払交付金事業	9,689万円	
(2)多様な暮らしを満喫できる 生活環境を形成します	戦略3	住まいる栗原シェアリングタウン事業（再掲）	9,503万円	10
	戦略1	都市計画街路事業	2億5,436万円	13
	戦略1・3・4	道路整備事業	1億7,138万円	14
		道路橋りょう維持事業	3億7,808万円	
(3)安全・安心なまちづくりを推進します	戦略3	公営住宅建設事業	9,430万円	15
	戦略3	消防団員装備品整備事業	3,204万円	
	戦略3	防災マップ作成支援事業	136万円	
		再生可能エネルギー等導入事業	6億6,450万円	16
	戦略3	タンク車整備事業	5,897万円	
	戦略3	資機材搬送車整備事業	1,012万円	
	戦略3	耐震診断・耐震改修等助成事業	952万円	

2 「豊かな感性と生きる力を育むまち」

区 分	戦略番号	事業名	決算額	ページ
(1)次代を担うたくましい子どもを育成します	戦略5	学府くりはら「学力向上推進事業」(再掲)	1,608万円	12
	戦略5	学校ICT環境推進事業	438万円	17
	戦略5	教育用コンピュータ整備事業	1,884万円	
	戦略4	スクールバス運行事業	3億9,220万円	
	戦略3	放課後健全育成事業(放課後児童クラブ)	1億2,465万円	
	戦略5	北部学校給食センター整備事業	11億6,678万円	
	戦略5	学府くりはら「教員等配置事業」	6,341万円	
	戦略5	学府くりはら「少人数指導事業」	669万円	
(2)人生を楽しむための実践機会を充実します	戦略3	クロスカントリーコース整備事業	454万円	
	戦略1・5	ホッケー競技推進事業	1,351万円	
		陸上競技場施設整備事業	5,801万円	
(3)地域に根ざした文化の振興と 歴史の継承を図ります		市内民俗資料集約事業	334万円	

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

区 分	戦略番号	事業名	決算額	ページ		
(1)子どもを安心して出産でき 健やかに育てられる支援を行います	戦略4	築館地区保育所建設事業(再掲)	2億9,503万円	11		
	戦略4	栗駒地区幼保一体施設整備事業(再掲)	10億2,363万円			
	戦略4	瀬峰地区幼保一体施設整備事業(再掲)	3,632万円			
	戦略4	志波姫地区幼保一体施設整備事業(再掲)	8億5,233万円			
	戦略4	一迫幼稚園整備事業(再掲)	1億4,791万円			
			子どものための保育給付事業	1億2,266万円	19	
	戦略4	幼稚園預かり保育事業	4,915万円			
	戦略3	児童虐待防止対策事業	530万円			
	戦略3	特定不妊治療費助成事業	361万円			
	戦略3	延長保育事業	93万円			
			親子ふれあい促進事業	154万円		
	戦略3	一時保育事業	1,469万円			
	戦略3	地域子育て支援センター運営事業	1,569万円			
	戦略3	子育て応援医療費助成事業	2億663万円			
(2)誰もが健康で安心して 暮らせる環境をつくります	戦略3	母子保健健康診査事業	5,224万円	20		
	戦略3	すこやか子育て支援金支給事業	2,001万円			
			自立相談支援事業		542万円	21
			障がい者地域生活支援事業		7,472万円	
			いのちを守る総合対策事業		1億194万円	
(3)高齢者が生きがいを持ち 互いに支え合うまちを目指します		あったかトイレ整備事業	1億8,231万円	22		
	戦略6	高齢者生きがい健康づくり等事業	6,803万円			

4 「地域の特性を活かした 産業や交流が盛んなまち」

区 分	戦略番号	事業名	決算額	ページ
(1)栗原ブランドの形成と高付加価値の 地場産品づくりに取り組みます		栗原ブランドの確立・支援事業	590万円	23
	戦略1	6次産業推進事業	1,088万円	
	戦略3	くりはら和牛の郷づくり支援強化事業	1,925万円	
		ほ場整備事業	7,232万円	
	戦略1	林道整備事業	4,718万円	
(2)産業育成と企業誘致による 産業拠点を形成します		企業誘致PR事業	1,317万円	24
	戦略2	中小企業振興資金	3億3,808万円	
	戦略2	企業立地投資奨励金	1億9,295万円	
	戦略2	企業立地促進奨励金	747万円	
	戦略2	雇用促進奨励金	240万円	
(3)地域資源を活かした交流人口の 増加を図り栗原市を発信します	戦略2	新産業創出支援事業	500万円	25
	戦略1	栗駒山麓ジオパーク構想推進事業(再掲)	2,387万円	9
	戦略1	くりはら田園鉄道旧若柳駅等活用事業(再掲)	2億8,740万円	
	戦略1	合併10周年記念事業 くりはら国際交流ふれあいフェア事業	100万円	25
	戦略3	市街地活性化まちなみ整備事業	1,656万円	
	戦略1	観光施設整備事業	1億1,894万円	26
	戦略3	定住促進プロジェクト	1,219万円	

5 「市民がまちづくりを楽しめるまち」

区 分	戦略番号	事業名	決算額	ページ
(1) 小さなコミュニティを大切にした 地域づくりを推進します		住民自治活動助成事業	5,680 万円	27
		地域集会施設新築改築修繕事業	3,998 万円	
(2) 市民が自ら行うまちづくり活動を支援します	戦略 1	合併 10 周年記念式典事業	336 万円	
	戦略 1	合併 10 周年記念協賛事業謝金交付事業	588 万円	
		市民協働活動推進事業	672 万円	
(3) 市民満足度を重視した効率的な 行政サービスを行います		総合支所建設事業	4億9,754 万円	28
		郵便局窓口交付サービス事業	42 万円	

6 「震災からの復興を成し遂げ、発展していくまち」

区 分	戦略番号	事業名	決算額	ページ
(1) 社会生活基盤の早期復旧を図り、 市民生活の再建を支援します	戦略 3	ブロック塀等除却・生垣等設置助成事業	22 万円	28
(2) 産業基盤の復旧を進め、 震災をバネにした新たな産業の創出などによる 地域経済の活性化を図ります		農林水産物放射能風評被害対策事業	103 万円	29
		自主防災組織備品の拡充	103 万円	
(3) 市民協働による災害に強いまちづくりを推進します		自主防災組織活動支援事業	279 万円	30
		保管牧草等対策事業	7,546 万円	
(4) 福島第一原子力発電所からの 放射性物質拡散への備えを進め、 安全・安心な暮らしを守ります		放射性物質吸収抑制対策事業	1億2,607 万円	30
		放射能除染対策事業	9,873 万円	

7 特別会計・事業会計決算の主な事業

区 分	戦略番号	事業名	決算額	ページ
工業団地整備事業特別会計	戦略 2	三峰工業団地（築館インター工業団地）整備事業（工業団地整備事業特別会計）（再掲）	6億9,125 万円	10
	戦略 2	第 2 大林農工団地（若柳金成インター工業団地）整備事業（工業団地整備事業特別会計）（再掲）	3億4,148 万円	
介護保険特別会計	戦略 6	介護予防事業（再掲）	2,696 万円	12
	戦略 6	介護予防普及啓発事業（再掲）	103 万円	
	戦略 6	包括的支援事業	1億2,367 万円	
水道事業会計・簡易水道事業特別会計		水道施設整備事業	1億164 万円	31
		石綿セメント管更新事業	4,760 万円	
	戦略 3	簡易水道再編推進事業	3億9,916 万円	
合併処理浄化槽事業特別会計	戦略 3	合併処理浄化槽事業（市設置型・個人設置型）	1億2,869 万円	32
下水道事業特別会計・農業集落排水事業特別会計	戦略 3	合併処理浄化槽切替助成事業	40 万円	
下水道事業特別会計・農業集落排水事業特別会計 合併処理浄化槽事業特別会計	戦略 3	単独浄化槽切替助成事業	130 万円	
	戦略 3	水洗化促進奨励金事業	150 万円	
下水道事業特別会計	戦略 3	公共下水道未普及解消事業	3億2,120 万円	
病院事業会計	戦略 7	医学生・看護学生修学資金等貸付事業（再掲）	1,485 万円	12
		医療機器整備事業	1億7,086 万円	32

8 平成 26 年度からの主な繰越事業（地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金事業関係）

区 分	戦略番号	事業名	決算額	ページ
地域消費喚起・生活支援型		プレミアム付商品券発行事業	1億981 万円	33
		低所得者等向け商品券交付事業	1,437 万円	
		ふるさと旅行券発行事業	3,395 万円	
地方創生先行型		地方版総合戦略策定事業	892 万円	34
		ファン・リピーター獲得事業	1,673 万円	
		空き家活用移住体験事業	212 万円	35
		建設業若手技術者育成支援事業	131 万円	
		子ども家庭支援員訪問事業	370 万円	36
戦略 3	栗原市住環境リフォーム助成事業	4,763 万円		
	来てみらいん栗原移住定住情報発信事業	905 万円		
	戦略 2	栗原市雇用拡大奨励金	2,130 万円	

【主な合併10周年記念事業】

平成27年度で合併10周年を迎えた栗原市では、10周年記念としてメモリアルイベントを開催しました。

ミュージカル公演事業「広い宇宙の中で」(5月30日)

443万円

(社会教育課生涯学習係)

家族愛をテーマにした、涙無しでは観られない、愛に溢れたミュージカル。栗原ドリムアンバサダーの元AKB48岩田華怜^{いわたかれん}さんも出演され、多くの来場者が強く感銘を受けました。



ミュージカルの様子

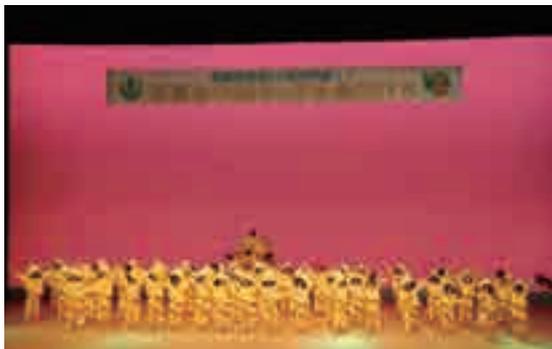
元気なくりはらっ子大会(10月11日)

365万円

戦略3

(子育て支援課子ども・家庭福祉係)

栗原の子どもたちが、楽しく触れ合う市民参加型の大会とすることを目的に開催している「元気なくりはらっ子大会」を拡充し、幼稚園児及び保育所児によるかわいいダンスや合併10周年を記念したキャラクターショーなどを行いました。



元気なくりはらっ子大会

栗原市民芸術祭(8月2日)

166万円

(社会教育課生涯学習係)

市民が行う文化芸術活動の支援と推進を図ることを目的に市民芸術祭を開催し、多くの来場者の前で活動の様子を披露しました。

また、市内の文化芸術活動を来場者が再発見する場としても有意義な芸術祭となりました。



栗原市民芸術祭の様子

【主な合併10周年記念事業】

2015栗原市民まつり（8月29日）

850万円
（産業戦略課商工振興係）

多くの市民の参加により一体感の醸成を図ってきた市民まつりの内容を拡充し、ゲストに栗原ドリームアンバサダーのさとう宗幸さん、高橋ジョージさん、狩野英孝さんをお招きし、さらなる飛躍と市民総参加によるイベントを開催しました。

2015栗原市民まつり会場の様子



栗原ハーフマラソン大会（11月8日）

669万円
（社会教育課スポーツ推進係）

戦略3



記念すべき第1回大会の様子

若柳地区の日本陸連長距離競走路公認コース（ハーフ・10km）を会場に、第1回栗原ハーフマラソン大会を開催し、1,000人を超える参加者が、晩秋の伊豆沼周辺を力走しました。

海上自衛隊横須賀音楽隊コンサート（11月23日）

136万円
（社会教育課生涯学習係）



横須賀音楽隊と栗原市合唱連盟のコラボレーション

平成20年岩手・宮城内陸地震の際、多くの市民に勇気と希望を与えてくれた自衛隊との絆をさらに深める記念コンサートを開催しました。行進曲や映画音楽を含め全12曲を演奏し、多くの来場者が強く感銘を受けました。

心にきざむ 文化講演会（12月12日）

126万円
（社会教育課生涯学習係）

各分野の第一線で活躍している著名人を講師に、市民の文化的資質を養い、自己実現を図る糧となる講演会を開催しました。

脳科学者の茂木健一郎氏に、脳活性化の秘訣を、楽しく、わかりやすく解説していただき、多くの来場者にとって、有意義な時間となりました。



講師 脳科学者 茂木 健一郎 氏

新=新規事業、拡=拡充事業 (事業名の頭に標記)

拡 栗駒山麓ジオパーク構想推進事業

2, 387万円

【H28年度への繰越額 4, 126万円】

(担当：ジオパーク推進室ジオパーク推進係)

栗駒山麓ジオパーク構想は、平成24年2月から3年間の取組みが評価され、平成27年9月4日、日本ジオパークに認定されました。

ジオパークの特徴的な場所であるジオサイトでは、説明看板・案内看板の設置を行ったほか、拠点となるビジターセンターの基本設計を進めています。

また、ジオパークを案内するジオガイドの養成や小・中学校でのジオパーク学習、ジオサイトを巡るジオツアーなどを実施したほか、ホームページ・フェイスブックや広報紙などを活用して情報発信を行い、栗駒山麓ジオパークの周知を図るとともに交流人口の拡大に努めました。



平成27年9月4日 日本ジオパーク認定報告の様子

拡 くりはら田園鉄道旧若柳駅等活用事業

2億8, 740万円

【H28年度への繰越額 8, 847万円】

(担当：企画課企画政策係)



レールバイク乗車会の様子

地元の人々の生活や産業を支えてきた「くりでん」。この「くりでん」の歴史を後世に伝えるため、くりはら田園鉄道公園の資料館新築・既存施設修繕工事等を行いました。

また、くりはら田園鉄道の歴史的価値の伝承と地域活性化を目的とした「くりでん乗車会」及び「レールバイク乗車会」を実施し、9, 120人のお客様にお越しいただきました。

戦略 2

企業の誘致を進め、自動車関連産業など4社の誘致、

1千人の雇用を実現させます

新=新規事業、拡=拡充事業 (事業名の頭に標記)

三峰工業団地（築館インター工業団地）整備事業	6億9,125万円
第2大林農工団地（若柳金成インター工業団地）整備事業 （工業団地整備事業特別会計）	3億4,148万円 （担当：産業戦略課企業戦略係）

雇用の受け皿となる企業の誘致を推進するため、工業団地の整備を進め、第2大林農工団地は平成27年12月末に、三峰工業団地は平成28年3月末に完成しました。造成工事の完成に伴い、企業に対し、現地への案内や資料の提供を行いながら、積極的に誘致活動を行いました。



三峰工業団地（築館インター工業団地）



第2大林農工団地（若柳金成インター工業団地）

戦略 3

「子育ては栗原で」をスローガンに、

若者の人口を1千人増やします

住まいる栗原シェアリングタウン事業	9,503万円
	【H28年度への繰越額 3,926万円】 （担当：管財課財産係）

人口減少の抑制と若者世代の定住や移住を促進するため、市が所有する未利用地を住宅分譲地として整備し、提供しました。

《整備地》

- きらめきの丘三峰 8区画（築館地区）
- いずみの庭佐野丁10区画（高清水地区）



整備が完了した「いずみの庭」佐野丁住宅分譲地

保育所入所の待機児童をゼロにします

= 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に表記)

築館地区保育所建設事業

2億9,503万円

【H28年度への繰越額 3億2,529万円】

(担当：子育て支援課保育サービス係)

0歳児から2歳児までの待機児童を解消するために、保育所を築館幼稚園と同じ敷地内に建設しました。

あわせて、敷地内北側に一般利用も可能とした児童公園と駐車場の整備を行いました。



築館保育所の外観

栗駒地区幼保一体施設整備事業

10億2,363万円

瀬峰地区幼保一体施設整備事業

3,632万円

志波姫地区幼保一体施設整備事業

8億5,233万円

一迫幼稚園整備事業

1億4,791万円

(担当：教育総務課教育環境係)



栗駒幼稚園・保育所の外観

幼児教育の充実を目的に、栗駒・志波姫地区の幼稚園・保育所・子育て支援センターの一体的な整備を行いました。また、瀬峰地区については、準備作業として敷地に係る発掘調査を行っています。

さらに、一迫幼稚園については、3年保育のため、施設の増築を行いました。

戦略 5

「学府くりはら」を目指して、

小・中学生の学力をレベルアップします

新=新規事業、拡=拡充事業（事業名の頭に標記）

拡 学府くりはら「学力向上推進事業」

1,608万円

（担当：学校教育課指導係）

宮城教育大学と連携し、長期休業中の中学生の学びの場の提供や、教員OBの方々を学び支援コーディネーターとして活用した小学生の学習会、平成27年度から新たに中高合同学習合宿を実施し、小・中学生及び高校生の総合的な学力向上を推進しました。



中高合同学習合宿「学府くりはら塾」

戦略 6

高齢者の施設入所待機者300人を半分にします

介護予防事業

2,696万円

介護予防普及啓発事業

103万円

（介護保険特別会計）

（担当：介護福祉課認定調査係）



介護予防事業 足腰元気アップ教室の様子

介護が必要な状態にならないよう自宅でもできる運動方法等を楽しく学ぶ教室を実施し、参加者の運動機能の維持・改善を図りました。

また、認知症への正しい理解を深めるための講演会開催、個人それぞれに必要な介護予防対策等をお知らせするため『基本チェックリスト結果アドバイス表』を配布し、介護予防等の普及啓発を図りました。

戦略 7

市立病院の医師を増やし、充実させます

医学生・看護学生修学資金等貸付事業（病院事業会計）

1,485万円

（担当：医療管理課総務係）

医師や看護師を充実させるため、将来市立病院及び診療所での勤務を希望する医学生・看護学生に対し修学資金等を貸し付けました。

医学生修学一時金貸付者数 平成18年度～平成27年度：20人
看護学生修学資金貸付者数 平成22年度～平成27年度：28人

1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」

(1) 豊かな自然環境と共生した生活を実現します

 = 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

住宅用太陽光発電設備設置事業補助金
戦略3 1, 139万円
(担当：環境課環境政策係)

地球温暖化対策と低炭素社会の実現を目的として、一般家庭における太陽光発電システムの設置に対して助成しました。

助成件数：99件



一般家庭への普及が進む太陽光発電

 **多面的機能支払交付金 (旧農地・水保全管理支払交付金)** 4億3,029万円

(担当：農業政策推進室農業政策推進係)
田や畑及び農業用水などの資源や農村環境の保全を図るための共同活動に対して支援しました。



共同活動による農道砂利敷き作業

 **中山間地域等直接支払交付金事業**
9, 689万円
(担当：農業政策推進室農業政策推進係)

平地と比べて耕作不利地である中山間地域等で農業生産の維持を図りながら多面的機能を確保するための活動に対して支援しました。

交付金を活用して管理されている農地



(2) 多様な暮らしを満喫できる生活環境を形成します

都市計画街路事業 2億5, 436万円
戦略1 【H28年度への繰越額 1, 705万円】
(担当：都市計画課都市計画係)

都市計画道路として安全で快適な交通体系を確保しながら、利用しやすい街路づくりを推進しました。

《築館》一迫南線、駅前大通線
《若柳・志波姫》新山十文字線
《志波姫》桜町線



整備が進む都市計画道路新山十文字線 (若柳)

1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」

(2) 多様な暮らしを満喫できる生活環境を形成します

【新】=新規事業、【拡】=拡充事業 (事業名の頭に標記)

【拡】道路整備事業 戦略1・3・4

1億7,138万円

【H28年度への繰越額 1億114万円】

(担当：建設課建設係)

市民の生活を支える基礎となる市道（橋梁）を整備し、安全で快適な道づくりを実施しました。

- 《築館》栗原中央西線、(仮称)高田1号線
東沢2号線
- 《若柳》(仮称)川原住宅線
- 《栗駒》元木線、上町裏住宅1号線他1路線
- 《一迫》町西線、清水目・嶋躰線
- 《鶯沢》辻前遠堀線(2期)
- 《金成》片馬合萩荘線
- 《志波姫》御蔵線



市道高森3号線(築館)

道路橋りょう維持事業

3億7,808万円

【H28年度への繰越額 1,150万円】

(担当：建設課維持係)

市道や生活道路等の補修や側溝整備を行い、安全で安心な道路環境を造りました。



市道広域線(栗駒)修繕前



市道広域線(栗駒)修繕後

公営住宅建設事業 戦略3

9,430万円

【H28年度への繰越額 8,940万円】

(担当：建築住宅課建築係)

安心して暮らせる居住環境・生活環境の整備と定住を促進するために、地域と密着・連携した公営住宅の建替えと子育て世代向け定住応援住宅の整備を行いました。

- 建替 《瀬峰》市営下山住宅
- 造成 《築館》定住応援新田東住宅
- 解体 《瀬峰》市営下山住宅(一部)



建設中の市営下山住宅(瀬峰)

1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」

(3) 安全・安心なまちづくりを推進します

= 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

消防団員装備品整備事業

戦略3

3,204万円

(担当：消防本部総務課総務係)

火災などの災害現場で、消防団員が活動する際の安全を確保するため、防火衣及び防寒衣を整備しました。



消防団員用の防火衣



消防団員用の防寒衣

防災マップ作成支援事業

戦略3

136万円

(担当：危機対策課防災係)

自主防災組織において、防災マップを作成する際の基本データ作成経費（上限5万円）と、併せて印刷経費の2/3（上限5万円）を助成しました。助成件数：24組織



志波姫熊谷自主防災会で作成した防災マップ

再生可能エネルギー等導入事業

6億6,450万円

(担当：環境課環境政策係)

災害時に地域の防災拠点となる公共施設に太陽光発電設備と蓄電池を設置し、災害に強く環境にやさしいまちづくりを推進しました。

◆設備を設置した主な施設

市役所本庁舎、若柳総合支所、瀬峰総合支所、鶯沢総合支所、志波姫総合支所、花山総合支所、消防庁舎など全16施設



瀬峰総合支所に設置した太陽光発電設備



市役所本庁舎に設置した蓄電池設備

1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」

(3) 安全・安心なまちづくりを推進します

 = 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

タンク車整備事業 5,897万円

戦略3 (担当：消防本部警防課警防係)

消防ポンプに1.5トン水槽、圧縮空気泡消火装置及びホースカーを装備した緊急消防援助隊仕様の四輪駆動水槽付消防ポンプ自動車を東分署に配備しました。ホースカーにより離れた火災現場でも素早い初期消火が可能になりました。



整備した水槽付消防ポンプ自動車

資機材搬送車整備事業 1,012万円

戦略3 (担当：消防本部警防課警防係)

大型エア TENT や消防資機材等を積んで災害現場へ搬送する、3トン積み資機材搬送車を栗原消防署に配備しました。



整備した資機材搬送車

耐震診断・耐震改修等助成事業

952万円

戦略3

(担当：建築住宅課建築係)

今後も発生が予想される大地震に備え、昭和56年以前に建てられた木造住宅に対して、耐震診断士を派遣し、耐震診断並びに改修設計を行いました。さらに、診断の結果、耐震改修工事を実施した方に助成を行い、安全な居住の確保を支援しました。

また、地震による家具の転倒を防止するための転倒防止器具取付けをした高齢者や母子家庭世帯等に助成を行いました。

木造住宅耐震診断助成事業	: 耐震診断士の派遣、診断・設計 23件
木造住宅耐震改修工事助成事業	: 住宅の耐震改修工事への助成 6件
家具転倒防止器具取付事業	: 高齢者・母子世帯等への器具取付 1件



耐震改修の状況

2 「豊かな感性と生きる力を育むまち」

(1) 次代を担うたくましい子どもを育成します

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

 学校ICT環境推進事業 438万円

 教育用コンピュータ整備事業 1,884万円

戦略5 (担当：学校教育課指導係)

市内全ての中学校にタブレット端末を導入し、授業のツールとして活用することにより「わかる授業」を実現し「確かな学力」の育成を図りました。

また、市内中学校教職員用のパソコン等を更新し、学校の情報化を推進するための整備を行いました。



タブレット端末を使用した授業の様子

 スクールバス運行事業

戦略4 3億9,220万円

(担当：学校教育課学務係)

スクールバスを運行し、遠距離通学となる園児・児童生徒に対する通学支援と安全確保を図りました。

 放課後健全育成事業(放課後児童クラブ)

戦略3 1億2,465万円

(担当：社会教育課生涯学習係)

共働き家庭などの児童を預かり、放課後に適切な遊びや生活の場を与え、健全な育成を図るため、市内全地区で放課後児童クラブを実施しました。

北部学校給食センター整備事業

戦略5 11億6,678万円

(担当：教育総務課教育環境係)

老朽化が著しい施設を統合し、新たに北部学校給食センターを建設しました。

また、給食提供体制を再編し、安全で安心な給食を提供するための体制を整えました。



北部学校給食センターの外観

学府くりはら「教員等配置事業」

戦略5 6,341万円

(担当：学校教育課指導係)

市独自に教員を採用して35人学級を編制することにより、きめ細かな教育活動を行い、学校生活の基本となる学習習慣や生活習慣の着実な定着を図りました。

学府くりはら「少人数指導事業」

戦略5 669万円

(担当：学校教育課指導係)

生徒の習熟度に応じた教育を行うため、中学校の国語・社会などの特定教科の授業において、少人数指導の教員を配置し、きめ細かな指導を行い、学力向上を図りました。

2 「豊かな感性と生きる力を育むまち」

(2) 人生を楽しむための実践機会を充実します

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

クロスカントリーコース整備事業

戦略3 454万円

(担当：社会教育課スポーツ推進係)

築館総合運動公園いこいの森内に、自然の起伏を生かしたクロスカントリーコースを整備するため、測量設計を行いました。

陸上競技場施設整備事業

5,801万円

【H28年度への繰越額 6,058万円】

(担当：社会教育課スポーツ推進係)

築館陸上競技場で開催する各種陸上競技大会のウォーミングアップ場として、競技場北側に補助競技場の整備を行いました。



築館陸上競技場補助競技場

ホッケー競技推進事業

戦略1・5 1,351万円

(担当：社会教育課スポーツ推進係)

「ホッケーのまちくりはら」を確立し、競技力を向上するため、オーストラリアの中学生・高校生世代のホッケーチームとの交流試合や、女子ホッケー日本リーグを開催しました。また、競技の普及を推進するため、モデル校となる市内小学校へ、スーパーホッケー用具を配置しました。



スーパーホッケー用具を活用したホッケー教室



女子ホッケー日本リーグを開催

(3) 地域に根ざした文化の振興と歴史の継承を図ります

市内民俗資料集約事業

334万円

(担当：文化財保護課文化財係)

昔の人たちの生活を知ることができる民俗資料を後世に残すとともに、展示活用を図るため、市内各地で保管されていた資料を、閉校した旧富野小学校に運び、整理・集約を行いました。



集約した足踏み水車

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(1) 子どもを安心して出産でき 健やかに育てられる支援を行います

= 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

子どものための保育給付事業

1億2,266万円

(担当：子育て支援課保育サービス係)

待機児童の解消を図るため、0歳児から2歳児を保育する民間の地域型保育事業所などに、事業費の一定額を給付し、民間事業者の参入促進を図りました。



地域型保育事業における保育の様子

幼稚園預かり保育事業

戦略4

4,915万円

(担当：学校教育課学務係)

家族の就労などの理由により栗原市立幼稚園の教育時間以外に、家庭において保育に欠ける園児を対象とした預かり保育を行いました。



預かり保育の様子

児童虐待防止対策事業

戦略3

530万円

(担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係)

児童虐待をなくすため、関係機関と連携し3人の相談員が家庭内の様々な相談に応じました。

また、市民向けの講演会を通して、児童虐待予防の啓蒙を図りました。

延長保育事業 戦略3

93万円

(担当：子育て支援課保育サービス係)

保護者の勤務形態の多様化に対応するため、保育所の延長保育を、夕方の延長保育(午後6時30分から午後7時まで)とあわせて、午前7時から午前7時30分までの早朝延長保育を行いました。

●平日利用件数 延べ 399件

●土曜日利用件数 延べ 192件

特定不妊治療費助成事業

戦略3

361万円

(担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係)

少子化対策の充実を図るため、医療保険が適用されず、高額の治療費がかかる特定不妊治療費を助成し、経済的負担を軽減しました。

1年度あたりの助成回数は、申請1年度目は3回、2年度目以降は2回まで助成しています。(通算5年間で10回まで)

親子ふれあい促進事業

154万円

(担当：子育て支援課保育サービス係)

就労等の理由により育児相談に出向くことが難しい保育所入所児童の保護者などを対象として、専門相談員による育児相談を実施し、家庭保育の不安解消等を図りました。

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(1) 子どもを安心して出産でき 健やかに育てられる支援を行います

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

一時保育事業 戦略3 1, 469万円
(担当：子育て支援課保育サービス係)

保護者のパート就労や病気、冠婚葬祭、育児等に伴う心理的・肉体的負担の解消のため、市内10か所の保育所で、一時的(緊急的)にお子さんを預かる事業を実施しました。

- 1日利用件数 延べ 927件
- 半日利用件数 延べ 337件

地域子育て支援センター運営事業 戦略3 1, 569万円
(担当：子育て支援課保育サービス係)

地域全体で子育てしやすい環境を推進するため、育児不安を抱える母親の相談や子育てサークルの育成支援等を行うセンターを市内9地区で行いました。

- 利用実績(9地区合計)
 - ・児童人数 合計13, 217人
 - ・保護者人数 合計11, 595人
 - 合計人数 24, 812人

子育て応援医療費助成事業 戦略3 2億663万円
(担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係)

乳幼児、小学生、中学生の適正な医療機会の確保と子育て家庭における経済的負担の軽減を図るため、入院及び通院に係る医療費のうち、保険診療による自己負担額を助成しました。

- 【助成件数】
- 未就学児 延べ 54, 747件
 - 小学生 延べ 40, 663件
 - 中学生 延べ 18, 639件



子育て支援センターでの保健講座

母子保健健康診査事業 戦略3 5, 224万円
(担当：健康推進課保健指導係)

妊婦の異常の早期発見・早期治療を促すとともに健康管理の向上を図るため、妊婦ひとりあたり一般健康診査14回の助成を行いました。

また、乳幼児健診は2か月児から3歳児までのお子さんの疾病の有無や、成長発達の確認、育児の相談を医師、歯科医師、保健師等の専門職が行いました。

すこやか子育て支援金支給事業 戦略3 2, 001万円
(担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係)

少子化対策及び子育て世代の定住促進を目的に、出生祝金及び入学祝金を支給しました。

- 出生祝金
 - 第1子 138件
 - 第2子 130件
 - 第3子 75件
 - 第4子 18件
 - 第5子以降 4件
- 入学祝金
 - 第3子以降 83件

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(2) 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくります

 = 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

自立相談支援事業

542万円

(担当：社会福祉課社会福祉係)

福祉事務所に福祉相談窓口を設置し、生活困窮に陥りやすい長期間失業状態が続いている方や債務のある方、引きこもりの方など生活に不安のある方に対し、相談支援員等が個別に就労など自立に関する相談支援を行いました。

平成27年度相談受付件数 106件

性別	件数	年次別	件数
男性	57件	～10代	0件
女性	49件	20代	8件
計	106件	30代	13件
		40代	15件
		50代	26件
		60代以上	37件
		不明	7件
		計	106件

障がい者地域生活支援事業

7,472万円

(担当：社会福祉課障害福祉係)

訪問入浴サービス事業

自宅での入浴が困難な身体障がい者に対し、訪問入浴サービスを行いました。

日中一時支援事業

障がい者の日中活動の場を提供し、家族の就労支援や介護の負担を軽減するための支援を行いました。

日常生活用具給付等事業

障がい者等に対し、日常生活の便宜を図るための特殊寝台や紙おむつなどの日常生活用具を給付しました。

相談支援事業

障がい者等からの相談に応じ、必要な情報の提供を行いました。

自動車運転免許取得費・改造費助成事業

障がい者の自動車運転免許の取得費用、自動車を改造する費用を助成しました。

移動支援事業

屋外での移動が困難な障がい者が外出する際の支援を行いました。



とっておきの音楽祭の様子



就労支援事業所による販売

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(2) 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくります

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

いのちを守る総合対策事業

1億194万円

(担当：社会福祉課社会福祉係、健康推進課保健指導係)

市民とともに自殺防止に取り組む社会づくりのため、こころの健康サポーター養成研修や、自殺防止キャンペーン、自殺防止に関する講演会を実施しました。また、多重債務による自殺を防止するため、相談電話の設置、無料弁護士相談を実施するとともに、栗原市のぞみローンによる資金融資などに取り組みました。さらに、賢い消費者を育てるため、小中学生を対象とした金融教育の普及啓発事業も継続して実施しました。



栗原市自殺防止講演会の様子

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(3) 高齢者が生きがいを持ち 互いに支え合うまちを目指します

あったかトイレ整備事業

1億8,231万円

(担当：社会福祉課社会福祉係、市民協働課市民協働男女参画係
田園観光課観光振興係、社会教育課スポーツ推進係)



快適な環境に！

誰もが外出しやすい環境づくりのため、高齢者の利用が多い公共施設をはじめ、トイレの洋式化と温水洗浄便器の整備を行いました。

高齢者が安心して社会活動を行うことができるとともに、衛生面での向上を図りました。

高齢者生きがい健康づくり等事業 **戦略6**

6,803万円

(担当：社会福祉課社会福祉係)

在宅の高齢者が、生きがいを持ち、いつまでも健康に生活できるように各種福祉サービスを提供し、高齢者の支援を行いました。

生きがい活動支援通所事業、外出支援サービス（タクシー利用助成）、食の自立支援（宅配給食サービス）、緊急通報体制等整備事業など10事業を実施しました。



生きがい活動支援通所事業

4 「地域の特性を活かした 産業や交流が盛んなまち」

(1) 栗原ブランドの形成と高付加価値の地場産品づくりに取り組みます

= 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

栗原ブランドの確立・支援事業

590万円

(担当：産業戦略課商工振興係、6次産業推進室6次産業推進係)

“栗原市”の認知度向上、特産品の競争力強化、地域ブランドの確立を図るため、市内の地域資源を対象とする栗原ブランドを構築するとともに、インターネット等を活用した「独自の直売ルートの開拓」や、各分野の事業者が連携した「新たな商品開発」を支援し、栗原の魅力とあわせて商品を全国へ発信しました。



栗原ブランド販売の様子

6次産業推進事業

1,088万円

戦略1

(担当：6次産業推進室6次産業推進係)

6次産業化の推進に向け、市民を対象とした研修会やシンポジウムを開催しました。

また、6次産業化による商品パッケージ等の作成費や施設・機械等整備費を助成する支援を行いました。



6次産業化シンポジウムの様子

くりはら和牛の郷づくり支援強化事業

1,925万円

戦略3

(担当：畜産園芸課畜産振興係)

市内で生産された優秀な繁殖素牛や肥育素牛を、みやぎ総合家畜市場から導入した場合に助成を行い、和牛資源の確保と産地づくりの強化を図りました。

また、産肉能力の高い茂洋産子、好平茂産子の場合には、加算して助成しました。

林道整備事業

4,718万円

戦略1

【H28年度への繰越額 594万円】

(担当：農林振興課林業振興係)

森林整備の促進と林道の安全な通行を確保するため、林道を整備しました。



林道権現堂線 (花山)

ほ場整備事業

7,232万円

(担当：農村整備課計画調整係)

築館沖富地区や瀬峰上富地区など市内16地区で、ほ場整備を行いました。



工事中の伊豆沼2工区地区 (若柳)

4 「地域の特性を活かした 産業や交流が盛んなまち」

(2) 産業育成と企業誘致による産業拠点を形成します

 = 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

企業誘致PR事業 1,317万円

(担当：産業戦略課企業戦略係)

平成27年度に完成を迎えた三峰工業団地（築館インター工業団地）及び第2大林農工団地（若柳金成インター工業団地）などに企業を誘致するため、栗原市の優れた立地環境を広く周知することを目的に、自動車関連産業が集積している中京圏で発行されている経済紙等に広告を掲載するなど、積極的にPR活動を行いました。

掲載回数：12回



平成27年度に掲載した中京圏日本経済新聞の内容

中小企業振興資金

戦略2 3億3,808万円

(担当：産業戦略課商工振興係)

中小企業者の経営の合理化と健全な発展と安定を図るため、融資のあっせんを行いました。

また、保証料の全額と、利子負担の大きい1年目・2年目の利子額の1/2を助成しました。

【制度概要】

融資制度

- ・融資限度額：2,000万円
- ・償還年限：設備資金10年、
運転資金7年

保証料補給制度

- ・融資に係る保証料を全額補給

利子補給補助

- ・利子額の1/2補助、2年間
(借換え分は対象外)

企業立地投資奨励金 1億9,295万円

戦略2

市内に新設・移設・増設した企業に対し、投資規模と市内に住所を有する新規常時雇用者数に応じて投資額の10%~20%を助成しました。

助成件数：2社

企業立地促進奨励金 747万円

戦略2

市内に新設・移設・増設する企業に対し、投資規模に応じて固定資産税相当額の2/3~全額を3年間助成しました。

助成件数：6社

雇用促進奨励金 240万円

戦略2

市内に住所を有する者を3人以上新たに常時雇用した市内企業に対し、その雇用者数に応じて助成しました。

助成件数：6社

(担当：産業戦略課企業戦略係)



増設したモリタ宮田工業団地第2工場

4 「地域の特性を活かした 産業や交流が盛んなまち」

(2) 産業育成と企業誘致による産業拠点を形成します

新新規事業、**拡**＝拡充事業 (事業名の頭に標記)

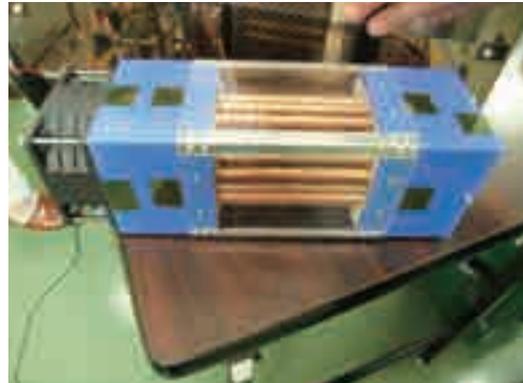
新産業創出支援事業 500万円

戦略2

(担当：産業戦略課企業戦略係)

新たな産業と雇用の創出に向けて、市内の企業が大学や研究機関などと連携した新製品の研究・開発に対して助成しました。

株式会社倉元製作所で開発中の大気圧プラズマリアクターを応用した消臭装置の試作品



(3) 地域資源を活かした交流人口の増加を図り栗原市を発信します

新合併10周年記念事業 くりはら国際交流ふれあいフェア事業 100万円

戦略1

(担当：市民協働課地域振興係)

合併10周年記念事業として、市が交流を行っている国など（スウェーデン、オーストラリア、台湾）の民俗芸能や食文化を体験する事業を開催し、約800人の参加のもと、異文化理解と国際感覚を養い、国際交流を深めたことにより、今後の交流発展に繋げることができました。



国際交流ふれあいフェアの様子

新市街地活性化まちなみ整備事業 1,656万円

戦略3

(担当：都市計画課都市計画係)



都市計画道路小山内沢線（築館）

市街地のまちなみを整備するため、都市計画道路の街路灯をLED照明に交換する工事を行いました。

街路灯整備 《築館》小山内沢線、桜町線
《若柳》新山十文字線
《栗駒》末町上小路線

4 「地域の特性を活かした 産業や交流が盛んなまち」

(3) 地域資源を活かした交流人口の増加を図り栗原市を発信します

 新規事業、 拡充事業 (事業名の頭に標記)

観光施設整備事業

1億1,894万円

戦略1

【H28年度への繰越額 4,600万円】

(担当：田園観光課観光振興係)

家族が楽しみながら細倉鉱山の歴史と文化を学べるように、細倉マインパークリニューアル工事（平成27年度～28年度事業の平成27年度分）を行ったほか、金成温泉金成延年閣などの整備を実施しました。

【事業内容】

細倉マインパークリニューアル工事
金成温泉金成延年閣エレベーター工事
ハイルザーム栗駒改修工事等



リニューアル後の細倉マインパーク

定住促進プロジェクト

1,219万円

戦略3

(担当：成長戦略室定住促進係)

住まいる栗原 ホームサーチ事業（空き家バンク制度）

空き家の賃貸、売買を希望する所有者からの申込みを受け、市が空き家の登録情報をホームページで公開して、市内への居住を考えている方に提供しました。

空き家登録：7件、利用登録：34件、マッチング：2件

若者定住促進助成事業

市内に住宅を新築または購入し、市外から転入した40歳以下の方に、金融機関等からの借入金残高の5%に相当する額（上限年20万円）を助成しました。

助成件数：16件

新婚生活応援家賃助成事業

市内の民間賃貸住宅に入居する夫婦ともに40歳以下の新婚世帯で、家賃負担額が月額3万円超の方に対し、上限月額1万円を助成しました。

助成件数：55件

婚活促進事業

未婚化・晩婚化への対応として、市主催による婚活イベントを3回開催したほか、一関市、登米市との3市合同婚活イベントを1回開催しました。

また、婚活イベントを自主開催する団体に対し、事業費の1/2（上限30万円）を助成しました。

助成件数：1件



3市合同婚活イベントの様子

5 「市民がまちづくりを楽しめるまち」

(1) 小さなコミュニティを大切にしたい地域づくりを推進します

新＝新規事業、**拡**＝拡充事業 (事業名の頭に標記)

住民自治活動助成事業 5,680万円

「市民が創るくらしたい栗原」を目指し、各地区の自治会やコミュニティ推進協議会の創意工夫による自立的コミュニティ活動を支援するため、コミュニティ組織一括交付金を交付しました。

地域の課題解決に向けて、自助・共助・公助の基本的な考え方にに基づき、市民自らの活動が図られました。



一括交付金を活用した地区行事の様子



高森自治会館 (築館：平成27年度建設)

地域集会施設新築改築修繕事業 3,998万円

地域の拠点である住民自治や地域コミュニティ活動の推進を図るため、自治会が行う地区集会施設の新築、改築及び修繕に要する事業費の一部を助成しました。

助成件数：15件

(担当：市民協働課市民協働男女参画係)

(2) 市民が自ら行うまちづくり活動を支援します

新 合併10周年記念式典事業 戦略1 336万円 (担当：総務課総務係)

合併10周年を迎え、多くの市民や関係者の皆様と共に祝うことで、さらなる市民の一体感と郷土愛の醸成、「市民が創るくらしたい栗原」の実現を目指して「栗原市合併10周年記念式典及び平成27年度栗原市表彰式」を開催しました。



合併10周年記念式典の様子

新 合併10周年記念協賛事業謝金交付事業 戦略1 588万円 (担当：企画課企画政策係)

合併10周年の祝賀ムードを市内全域で盛り上げるため、市内の団体等が、合併10周年記念事業として位置付けて開催する各種イベント等に対して、1団体あたり10万円を上限に協賛謝礼金を交付しました。

また、協賛事業には、合併10周年を記念する「のぼり旗」や「記念撮影用看板」を無償貸与し支援を行いました。

交付件数：68件

5 「市民がまちづくりを楽しめるまち」

(2) 市民が自ら行うまちづくり活動を支援します

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

市民協働活動推進事業

672万円

(担当：市民協働課市民協働男女参画係)

指定管理者による市民活動支援センターの管理運営により、市民活動の拠点として利用者ニーズに沿った活用が行われ、さらに、積極的な情報提供や団体相互の情報交換が行われたことにより、市民活動の活性化や地域力の向上が図られました。



市民活動支援センターでの市民活動の様子

(3) 市民満足度を重視した効率的な行政サービスを行います



完成した若柳総合支所

総合支所建設事業

4億9,754万円

(担当：管財課財産係)

市民サービスの向上と維持管理費の削減を図るため、若柳総合支所の建て替えと一迫総合支所建設に伴う実施設計業務を行いました。

郵便局窓口交付サービス事業

42万円

(担当：市民課市民係)

最寄りの総合支所から離れている地区及び出張所を廃止した地区にある、沼倉・文字(栗駒)、金田(一迫)、秋法(鶯沢)の4郵便局で、各種証明書等の交付サービスを実施しました。

6 「震災からの復興を成し遂げ、発展していくまち」

(1) 社会生活基盤の早期復旧を図り、市民生活の再建を支援します

ブロック塀等除却・生垣等設置助成事業

戦略3

22万円

(担当：建築住宅課建築係)

災害時の安全と避難路の確保を図るため、道路に面したブロック塀等の除却工事や塀に代わる生垣の設置に対する助成を行いました。



除却前



除却後

助成件数 3件

6 「震災からの復興を成し遂げ、発展していくまち」

(2) 産業基盤の復旧を進め、震災をバネにした

新たな産業の創出などによる地域経済の活性化を図ります

 = 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

農林水産物放射能風評被害対策事業

103万円

(担当：農林振興課農政係)

農家等が安心して生産に取り組める体制を構築し、栗原産農林水産物の安全・安心を消費者に発信するため、市民まつりや市内外のイベント、東北自動車道金成パーキングエリアなどにおいて、風評被害の払拭と消費拡大につなげるキャンペーン等を実施しました。



風評被害対策キャンペーンの様子

(3) 市民協働による災害に強いまちづくりを推進します

自主防災組織備品の拡充

103万円

自主防災組織が災害に備え、防災資機材や備蓄品等を保管するための防災倉庫整備に要する経費の2/3（上限20万円）を助成しました。

助成件数：6組織



栗駒桜田上自治会が整備した防災倉庫



若柳多賀自治会自主防災会の防災訓練の様子

自主防災組織活動支援事業

279万円

自主防災組織が自主的に行う防災訓練や講習会等に要する経費の2/3（上限3万円）を助成しました。

助成件数：113組織

(担当：危機対策課防災係)

6 「震災からの復興を成し遂げ、発展していくまち」

(4) 福島第一原子力発電所からの放射性物質拡散への

備えを進め、安全・安心な暮らしを守ります

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

保管牧草等対策事業

7,546万円

【H28年度への繰越額 5,907万円】

(担当：畜産園芸課畜産振興係)

汚染牧草の容積を減らすための実証実験などにより、処理方法の有効性や安全性について、調査研究を行いました。

また、処理が行われるまでの間、安全に牧草を保管するために、再ラッピングやシートによる被覆を行いました。

【実施内容】

- ラッピング 228個
 - φ1.2m1個
 - φ1.0m152個
- ミニロール75個
- フレコンバック詰め 2袋



汚染牧草の被覆作業

放射性物質吸収抑制対策事業

1億2,607万円

【H28年度への繰越額 7,317万円】

(担当：農林振興課農政係、農業政策推進室農業政策推進係)

農家が安心して生産に取り組める体制を構築するため、放射性物質の吸収抑制対策として、水稻・大豆・そばを生産している農家へ「塩化カリ」の散布について支援しました。

【実施内容】

- 塩化カリ配布
 - 水稻：11,105ha
 - 重点対策地域20kg/10a、一般対策地域10kg/10a
 - 大豆：892ha(40kg/10a)
 - そば：24ha(40kg/10a)
- 散布確認

放射能除染対策事業

9,873万円

(担当：放射能対策室放射能対策係)

市民の放射能に対する不安や風評被害による地元経済への影響を解消し、安心して住むことができる環境を取り戻すため、除染実施計画に基づく除染や空間放射線量の測定、自家消費の農産物等の放射能測定を実施しました。

7 特別会計・事業会計予算の主な事業

= 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

包括的支援事業 1億2,367万円
(介護保険特別会計)

戦略6 (担当：介護福祉課認定調査係)

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、医療、介護、介護予防、生活支援、住まいの5つのサービスを一体化して提供していく「地域包括ケアシステム」の実現に向け、中核機関である市内5か所の『地域包括支援センター』に専門職員を各1名増員し、市民に身近な総合相談機能の強化と介護予防や認知症施策の推進を図りました。

水道施設整備事業 1億164万円
(水道事業会計、簡易水道事業特別会計)

【H28年度への繰越額 1,850万円】

(担当：水道課施設係)

水道水の安定供給や災害時の備えを目的として、古くなった水道本管やその他の水道施設の整備工事を行いました。

また、下水道・道路改良等の工事に伴う水道管の布設替工事を行いました。

石綿セメント管更新事業 4,760万円
(水道事業会計、簡易水道事業特別会計)

【H28年度への繰越額 1,516万円】

(担当：水道課施設係)

水道水を安定して供給するため、石綿セメント管を丈夫な材質の管に更新する工事を行いました。

簡易水道再編推進事業
(簡易水道事業特別会計)

3億9,916万円

戦略3

【H28年度への繰越額 6,539万円】

(担当：水道課施設係)

一迫・大川口・鶯沢簡易水道を統合することで、安定した水道水を供給し、災害に強い水道施設を構築するとともに、維持管理コストを縮減するための工事を行いました。

一迫に整備した「門前ポンプ場」



合併処理浄化槽事業(市設置型・個人設置型)
(合併処理浄化槽事業特別会計)

戦略3

1億2,869万円

(担当：下水道課施設整備係・総務管理係)

公共下水道事業・農業集落排水事業が計画されていない区域を対象に、申請に基づき浄化槽の設置を行いました。

設置基数：123基

また、公共下水道事業の計画区域内で、下水道が当分の間整備されない区域について、個人が設置する浄化槽に対して設置費を助成しました。

助成件数：6件



合併処理浄化槽設置工事の様子

7 特別会計・事業会計予算の主な事業

 = 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

 **合併処理浄化槽切替助成事業**
40万円
(下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計)

戦略3 (担当：下水道課総務管理係)

既に公共汚水ますが設置されている区域で、個人が設置した合併処理浄化槽を使用している方が公共下水道等に接続した場合に、排水設備設置工事及び浄化槽撤去費用の一部として10万円を助成しました。

助成件数：4件

単独浄化槽切替助成事業 130万円
(下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計、合併処理浄化槽事業特別会計)

戦略3 (担当：下水道課総務管理係)

単独浄化槽(し尿浄化槽)を廃止し、新たに公共下水道等に接続した世帯に10万円を助成しました。また、65歳以上の高齢者のみの世帯、6人以上の世帯、18歳未満の子どもが3人以上の世帯に対して、さらに10万円を加算して20万円を助成しました。

助成件数：10件

公共下水道未普及解消事業
(下水道事業特別会計)

戦略3 3億2,120万円
【H28年度への繰越額 5,735万円】
(担当：下水道課施設整備係)

湖沼や水路など自然環境を守り、生活の快適性の向上を目的に、汚水を処理する管路や施設等を整備しました。

〈事業内容〉

下水道管渠布設工事 L=5,293m
舗装本復旧工事 A=7,969㎡
公共ます設置工事 178か所
マンホールポンプ・電気計装設備 4か所

水洗化促進奨励金事業 150万円
(下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計、合併処理浄化槽事業特別会計)

戦略3 (担当：下水道課総務管理係)

くみ取り便所等を使用している方(市の耐震改修または太陽光発電設備設置の補助を受けた方に限る。)が、水洗便所に改造し、公共下水道等に接続した場合に奨励金10万円を交付しました。

交付件数：15件

医療機器整備事業(病院事業会計)
1億7,086万円
(担当：医療管理課経営管理係)

医療の充実とサービス向上を図るため、市立3病院の医療機器を購入しました。

更新後の注射薬払出装(若柳病院)



8 平成26年度からの主な繰越事業（地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金事業関係）

=新規事業、=拡充事業（事業名の頭に標記）

平成26年度の国の補正予算で創設された地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金を活用し、地域経済の活性化に向けて、消費喚起等の事業を実施しました。

【地域消費喚起・生活支援型】

1億5,813万円

- プレミアム付商品券発行事業…… 1億 981万円
- 低所得者等向け商品券交付事業… 1,437万円
- ふるさと旅行券発行事業…………… 3,395万円

プレミアム付商品券発行事業

（担当：成長戦略室成長戦略係、産業戦略課商工振興係）

地域の消費拡大と商店街の活性化を図るため、市内の商店等で使用できる3割増のプレミアム付き商品券「栗原とくとく商品券」を発行しました。

○販売額（商品券1セットあたり）

6,500円分の商品券を5,000円で販売

※500円券の13枚綴とし、一般店専用券5枚、大型店・一般店共通券8枚

○使用範囲 市内の商工会加盟店

販売実績：59,992セット

低所得者等向け商品券交付事業

（担当：成長戦略室成長戦略係、税務課市民税係、市民課市民係、
社会福祉課社会福祉係・生活保護係、子育て支援課子ども・家庭福祉係）

低所得者等世帯への生活支援として、市内の商店等で使用できる「栗原くらし応援商品券」を交付しました。

○交付額 交付対象1世帯あたり3,000円分の商品券

○使用範囲 市内の商工会加盟店

交付世帯数：3,882世帯

ふるさと旅行券発行事業

（担当：成長戦略室成長戦略係、田園観光課観光企画係）

市内に限らず市外からも観光客を呼び込み、地域の消費拡大と2度の震災により落ち込んだ観光客の回復、地域の活性化を図るため、市内の宿泊施設で使用できる5割引き旅行券「くりはら魅力発見旅行券」を発行しました。

○販売額 1枚あたり5,000円分の旅行券を2,500円で
販売

○使用範囲 市内の宿泊施設

販売実績：10,000枚



8 平成26年度からの主な繰越事業（地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金事業関係）

=新規事業、=拡充事業（事業名の頭に標記）

【地方創生先行型】

1億1,076万円

○地方版総合戦略策定事業……………	892万円
○ファン・リピーター獲得事業……………	1,673万円
（今できることプロジェクト）	
○空き家活用移住体験事業……………	212万円
○建設業若手技術者育成支援事業……………	131万円
○子ども家庭支援員訪問事業……………	370万円
○栗原市住環境リフォーム助成事業……………	4,763万円
○来てみらいん栗原移住定住情報発信事業…	905万円
○栗原市雇用拡大奨励金……………	2,130万円

地方版総合戦略策定事業

（担当：成長戦略室成長戦略係）

平成26年11月に制定された「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、国の長期ビジョンと総合戦略を踏まえながら、栗原市においても2060年を目標年次とする人口ビジョンと、2019年度までの総合戦略を一体とした「栗原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を平成28年2月に策定しました。



作成した総合戦略

ファン・リピーター獲得事業

（担当：成長戦略室定住促進係）

東日本大震災後、河北新報社が企業団体や一般の方々と沿岸部を中心にさまざまな支援や活動を行ってきた「今できることプロジェクト」について、合併10周年を迎えた栗原市を舞台に「ファン・リピーター獲得事業」として共同実施しました。

栗原市のPRを新聞紙上で行うとともに、体験型ツアーを5回開催し、延べ679組1,529人から申し込みがあり、抽選の結果、延べ107組288人の方々にご参加いただきました。



田植え体験の様子

8 平成26年度からの主な繰越事業（地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金事業関係）

=新規事業、=拡充事業（事業名の頭に標記）

空き家活用移住体験事業

（担当：成長戦略室定住促進係）

市への移住促進を図るため、市内の空き家を移住希望者向けの移住生活体験施設として、リフォーム工事を行い、整備しました。

また、市外在住の空き家バンク登録者や移住相談者等への紹介チラシの発送や、首都圏での移住フェア・相談会でのPRなど、利用促進に努めました。



移住体験住宅 花山向程野

建設業若手技術者育成支援事業

（担当：建設課管理係）

建設業における慢性的な若手人材不足を解消するため、若手従業員を採用する市内企業を支援し、若手人材の建設業への定着並びに技術者の育成を図りました。

- ◆若手人材採用企業支援（30歳未満）
6名（3社） 108万円
- ◆若手人材資格取得企業支援（35歳未満）
1資格あたり 受験料の1/2以内を補助（最大5千円）
合格時に受験料の1/2以内を補助（最大5千円）
合計 14名（9社） 13万円



子ども家庭支援員訪問事業

（担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係）

子育てに対する不安や悩みを抱える、18歳未満の子どもまたは妊婦のいる家庭に、子ども家庭支援員を派遣し、家事や育児の支援や、子育てに関する悩み相談などを行いました。

主な支援の内容は、多子世帯での子どもの見守りや悩みの相談、乳幼児の沐浴介助や離乳食の調理支援などでした。1件につき、2時間以内の訪問時間で週に1回から2回訪問しました。

平成27年度は4人の子ども家庭支援員を任用し、7家庭に214回訪問しました。



8 平成26年度からの主な繰越事業（地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金事業関係）

=新規事業、=拡充事業（事業名の頭に標記）

栗原市住環境リフォーム助成事業

戦略3

（担当：建築住宅課建築係）

市民の住環境の向上を図るため、個人住宅のバリアフリー化や防災、省エネ等と併せて実施するリフォーム工事に対して対象工事費の1/10（上限20万円）を助成しました。また、地域経済の活性化を図るため、市内業者が施工したリフォーム工事の場合は、さらに対象工事費の2/10（上限40万円）を上乗せして助成しました。

助成件数：107件（うち市内業者92件） 4,763万円



来てみらいん栗原移住定住情報発信事業

（担当：成長戦略室定住促進係）

首都圏において「栗原フェア」や「ふるさと回帰フェア」を開催し、市の観光・物産の紹介、特産品販売などを行いながら、移住定住をPRしました。

また、移住ガイドブックを作製し、栗原フェアや宮城県移住サポートセンターやルミネtheよしもと等で配布し、市をPRしました。



JOIN移住フェアの様子

栗原市雇用拡大奨励金

戦略2

（担当：産業戦略課商工振興係）

若者定住と雇用拡大戦略の一環として、市内に事務所又は事業所を有する中小企業者が、新規学卒者等（高校・大学等卒業後3年以内）で市内に住所を有する者を、常時雇用者として6ヶ月以上雇用した場合、1人当たり30万円を交付しました。

交付件数：46件（71人） 2,130万円



栗原市民憲章

このまちに生き このまちを愛し このまちを誇りとする私たちは

輝かしい未来を信じ 知恵と力を集め 夢と活力のあるまちをつくります

まなぐ

眼 光を見つめ

足 大地を踏んまえ

あした

手 明日をぎっちり押さえ

あ

あ

腹ん中 熱つつぐ熱つつぐ

ひて

額こびに広がる宇宙

あまか

天駘ける駒にまたがり

われらいま風を切って走る

平成27年度

「栗原市のお金の使い道」(栗原市決算概要)

発行 宮城県栗原市 編集 栗原市総務部財政課 財政係
〒987-2293 宮城県栗原市築館薬師一丁目7番1号
TEL 0228-22-1115
FAX 0228-22-0312
E-mail zaisei@kuriharacity.jp



ねじりほんによ

この決算概要に関してお気づきの点がございましたら、気軽に財政課財政係までお寄せください。